

鎌倉の海と市のプラごみ削減への取り組み



山本歩空

はじめに



私は中高生だけのボランティア団体において海岸清掃を行っています。

私は学びの中で「海のごみの7割は川を通して街からやってくる」と知りました。海のごみを減らすには、街からごみを減らす努力が不可欠であると同時に、未来を担う小中学生に必要な知識を伝えていくことが必要ではないかと考えました。

このレポートは中学生へのプレゼンテーションを行うために作成したレポートです。

自己紹介

山本 歩空 やまもと あるく 県立藤沢清流高校2年生



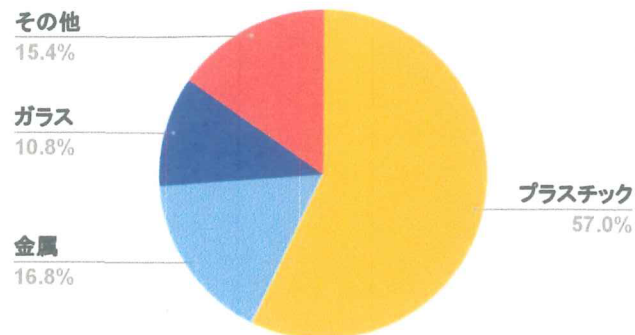
- 中高生ボランティア団体NEXUS(ネクサス)代表。
- 由比ヶ浜海岸等での定期的な海岸清掃活動を行っています。

神奈川の海岸ごみの現状について

- かながわ美化財団が1年間に回収する海岸ごみの量(約2,000トン)の内約33%(約660トン)は人工ごみである。
- **人工ごみの約60%(約400トン)はプラごみと推計され、海岸ごみにプラごみが占める割合は増加の傾向にある。**
- **25年でプラごみは全体の40.9%から57.1%へと1.4倍に増加。**
プラごみへの対策は不可欠である。(2018)



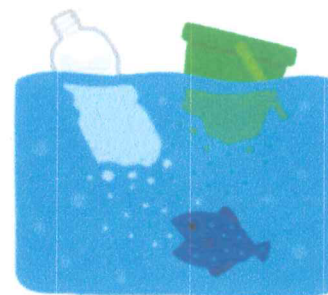
海岸ゴミの内訳2016~2018/かながわ海岸美化財団



プラごみに対しては入り口と出口からの戦略が必要！

入口はプラごみを出さない事

そのために、定期的な海岸清掃、ごみのポイ捨てや不法投棄を防ぐ呼びかけ、使い捨てプラスチックの使用を減らすことや生分解性プラスチックへの切り替えなどが必要になる。

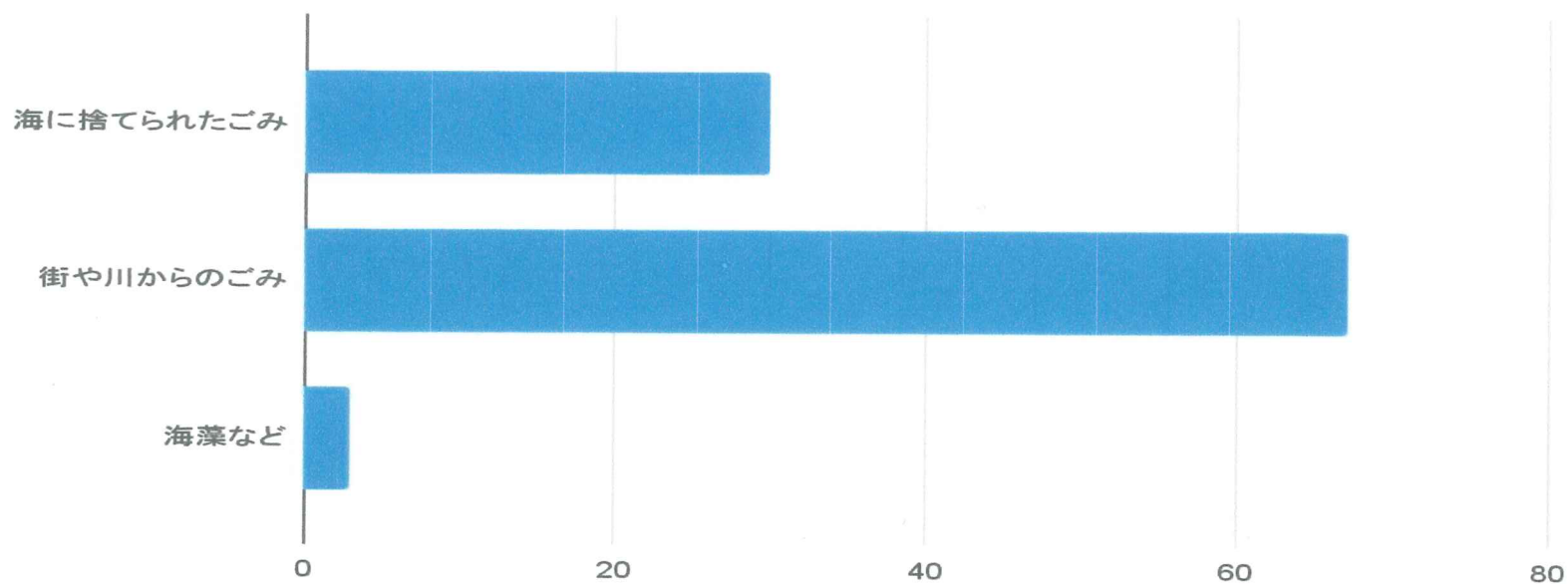


出口は海に入れない事

海岸のプラスチックは波や日光の作用によってどんどん小さくなっていき、5mm以下のマイクロプラスチックになると、永遠に海を漂い続けるため、その前に止める事が必要になる。

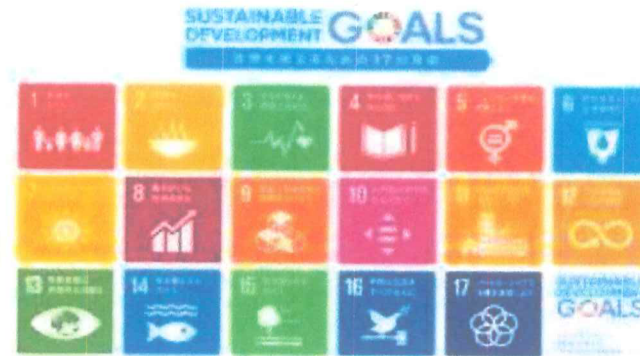
海岸のごみの7割はその場で捨てられたものではなく、川(街)から来ている。
つまり、地域でプラごみそのものを減らす対策が必要になってくる。
そこで次に、海に隣接する鎌倉市のプラごみ対策を見ていきたい。

海岸ごみの内訳



SDGs未来都市である 鎌倉市の政策について

そもそもSDGsとは



「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、2030年を期限とする**国際社会共通の17の開発目標**を指す。

誰一人取り残さない社会の実現のために、**経済・社会・環境**をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組む。

「SDG's未来都市」って何？

2015年、国連サミットで採択された国際社会全体の開発目標であるSDGsの達成に向け、内閣府はSDGsの達成に向けた取り組みを行う地方公共団体を**SDGs未来都市**として29都市を選定した。

その中でも先導的な取り組みを行う**自治体SDGsモデル事業**として10都市(横浜、二セコ町、富山、北九州など)を選定し、資金的な支援を行うことになった。

鎌倉市は2018年6月に、国から「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」両方にも選定され持続可能な街づくりにむけての取り組みを行っている。



シロナガスクジラの赤ちゃんからのメッセージ

2018年の夏、シロナガスクジラの
赤ちゃんが鎌倉市の由比ガ浜海岸に
打ち上げられた。

母乳しか飲まないクジラのお腹の中から
7cmのビニール片が見つかるという
痛ましい事故が起こった。



鎌倉市の「かまくらプラごみゼロ宣言」



●クジラの赤ちゃんの事故を受けて、鎌倉市議会では「**プラスチックフリーの街鎌倉を目指して～リデュースの取り組みを～実施することを求める請願書**」を採択し、議会議案「SDGs目標14“海の豊かさを守ろう”の達成のため、使い捨てプラスチック製品を使わないことでリデュースを推奨するよう国に求める意見書」を可決した。

●鎌倉市は以前から**ごみ分別(21分別)**に力を入れており、ごみの焼却や埋め立てをゼロにしていくという「**ゼロウェイスト**」の目標を掲げてきたが、プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化している現状を踏まえ、対策を加速させるため2018年10月1日「**かまくらプラごみゼロ宣言**」を発表した。

「かまくらプラごみゼロ宣言」の具体的な取り組み例

- マイバックの利用促進**のため、自治体から委員を選出しスーパーの前のキャンペーン等でマイバックの利用を呼び掛けた。
- リユース食器の利用**(100個以上)に対し、市が利用料の2分の1を補助し、イベント等で活用する事業を行っており、2018年度の実績では延べ19件の利用があった。
- ごみゼロについて事業者向けの周知啓発**を市の職員が個別訪問。2017年度は561社を直接訪問し、レジ袋などの削減、事業所や工場等での出る容器包装などのごみの減量化などを推進し、事業系のごみの分別に効果を出している。



「かまくらプラごみゼロ宣言」の具体的な取り組み例

●**マイボトルの給水スポットの設置** 鎌倉市は県企業庁と共同で鎌倉駅前(西口広場)に2021年7月、ウォーターサーバー設置。県で第一号の設置となる。

ウォーターステーションは、県営水道に直結、利用者は持参したマイボトルに水を無料でくむことができる。

●**ウォーターサーバーを市内に最大50か所に設置。**
市内の公共施設や福祉施設などで利用できるようにし、市民や観光客にマイボトル普及を発信。

→マイボトルの利用でペットボトル利用削減を目指す。



鎌倉市役所におけるプラごみ削減への取り組み

- 2019年4月、市施設内の自動販売機でペットボトル入り飲料の販売を廃止。マイカップに対応したタイプの自販機を設置し、マイカップ利用で10円引きになる。
- 会議室でのペットボトルの使用を制限。

市役所には缶入り飲料やコップ入り飲料の自販機が並ぶ



鎌倉市のプラごみの分別回収方法について

プラごみを**容器包装プラスチック**、**ペットボトル**、**製品プラスチック**の3種類に分別し、回収している。

●「**容器包装プラスチック**」プラマークのついているごみ。



●「**製品プラスチック**」プラマークのないプラスチック製品は、以前は「燃やすゴミ」として回収していたが、平成27年より資源物として「**製品プラスチック**」として回収を行っている。

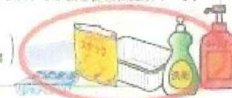
●「**ペットボトル**」は、ラベルとふたを外して回収。

プラスチック製容器包装

【対象となるもの】


対象となるものについては、 (プラスチック製容器包装識別マーク) がついています

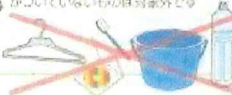
(商品を入れたもの (=容器)、
商品を入れたもの (=包装) が対象です)



【対象外となるもの】

材料がプラスチックであっても  がついていないものは対象外です

また、 がついていても食品等で汚れたものも対象外となります



鎌倉市のプラごみの量



●容器包装プラスチック

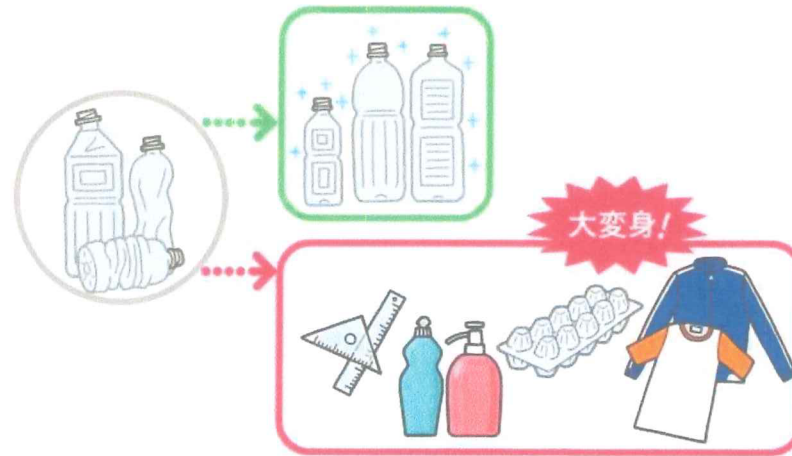
鎌倉市では、1日に排出された容器包装プラスチックを圧縮して、1m³の立方体にしており、これをボールとよぶ。ボール1つは市民7000人分の量になり、1日およそ60個のボールができる。年間排出量から、市民一人当たり1日39g排出している。これは、**1日1人当たりレジ袋13袋分(レジ袋1枚3g)**を排出していることになる。

●ペットボトル

ペットボトルもボールに圧縮され、1個あたり2500人分になる。年間総排出量から計算した市民の1人あたりの排出量は1日8gとなる。これは**市民1人あたり、3日に1本500mlのペットボトルを飲んでいる計算(500mlは1本25g)**となる。

鎌倉市のプラごみのリサイクル

- 容器包装プラスチックはアンモニアや炭酸ガスにリサイクル
→ 虫さされ薬やドライアイスになる。
- ペットボトルはすべてペットボトルにリサイクルされる。
- 製品プラスチックはざるやプランターなど様々なプラスチック製品にリサイクルされる。



私が海岸でゴミ拾いをして感じた事

私が海岸でゴミ拾いをしていて印象に残ったのは、**タバコのポイ捨ての多さ**だ。



●**タバコの吸い殻は、世界のビーチクリーンにおいても、最も多く拾われるゴミである。**

→2017年国際NGO「オーシャンコンサーバンシー」の調査で世界の海岸清掃で約41万本の吸い殻が回収され、ペットボトルのキャップやレジ袋の数を上回った。

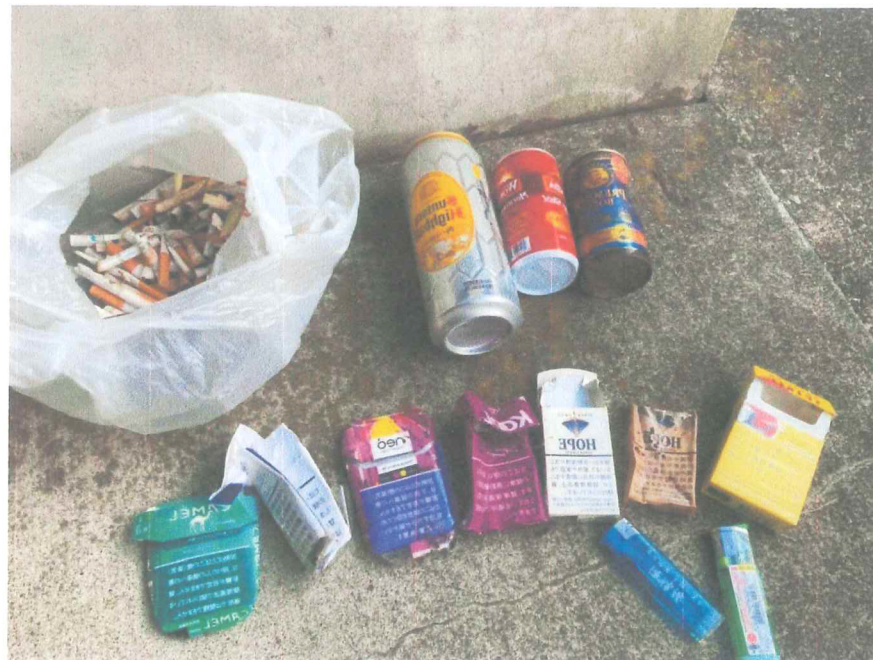
→2018年湘南でのビーチクリーンイベント「海のピンチが街を救う」においても、タバコ関連ゴミが半数以上だった。

●**タバコのフィルターには酢酸セルロースが使われており、プラゴミの一種である。分解されるまでには最大で10年かかる。**

→私は最初のうち、海岸で拾うタバコの吸い殻は海で捨てられたものかと考えていたが「**海岸ゴミの7割が川からやってくる**」と知り、街での取り組みが重要だ、と考えるようになった。

実際に鎌倉市の街中で拾ったタバコ関連ゴミ

- 2021年12月31日、実際に街中にどのくらいタバコの吸い殻が落ちているか調べるため、鎌倉市大町の大通り沿い(県道311号線)周辺のゴミ拾いを1時間実施した。**タバコの吸い殻は160本回収した。**



なかなか減らないタバコの吸い殻

- 鎌倉市では平成21年に街や公共の場での喫煙防止条例が施行され、キャンペーンが行われた。
- 全国的にもタバコや空き缶などに対する「ポイ捨て禁止条例」があるものの、ポイ捨ての現状をなかなか変えることができていない。ポイ捨て禁止条例の効果を上げるためには、ポイ捨てを見張るパトロールの人件費がかかることが問題として挙げられている。

中学生の皆さん！

**街からタバコのゴミを減らすための
アイデアを考えてみてください！**



ポイ捨て防止のアイデア例

例えばこんなことができるかもしれませんー

●**駅での放送** 鎌倉駅周辺での路上喫煙が禁止であることを観光客が知らない可能性があることから、駅での放送などで周知する。子どもの声を録音して放送するのも効果的かもしれない

●**ユニフォーム作成** パトロールの人員費抑制のため、「ポイ捨て見回り中」であることを示すユニフォームを作成し、自治会の方や、地域コミュニティ通貨である「まちのコイン」などで募集したゴミ拾いボランティアの方に着てもらう。

●**イエローチョーク作戦**の応用

※イエローチョーク作戦とは一犬のフン害対策のため黄色いチョークで犬の放置フンの周囲に○をつけ発見日時を書くことで飼い主に警告を与え、効果をあげた方法。

各自治体で2017年からタバコのポイ捨てにも応用。コストをかけずに意識を変える効果がある。



まとめ 鎌倉市で学ぶSDG's

鎌倉市で皆さんが今後もSDG'sについて学びたい場合ー

- 小中学生向け「**鎌倉市SDGs推進隊**」を随時、募集しています。

2021年度は「難民について」「食品ロス削減」について学びました。

- 高・大学生、一般向け「**SDGsみらい塾**」

年間全14回で講師を招き、SDGsについて学びます。2021年はオンライン開催。
鎌倉市役所HPで過去の講座を視聴することができます。

- 中高生ボランティア団体・NEXUS ネクサス**

由比ガ浜海岸や江の島などで海岸清掃を行っています。みなさんの参加をお待ちしています！



参考文献/参考サイト

参考文献 かまくらごみ減量通信 平成31年3月号 令和元年9月号

参考サイト 鎌倉市役所 かながわ海岸美化財団 世田谷生活ネットワーク

プラスチックフリージャパン 一般社団法人地球人間環境フォーラム

海は「タバコ吸い殻」汚染で泣いている/石田雅彦

朝日新聞デジタル「たばこの吸い殻も海洋汚染の原因 フィルター分解されず」2019年2月14日

長岡京市 イエローチョーク作戦